

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市並木地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

当ケアプラザ担当エリアには、約 40 年ほど前から入居が始まった高層集合住宅群と戸建て住宅が広がる閑静な住宅街が存在します。近年では、湾岸エリアを中心に、新たな集合住宅等の建設も進みましたが、街開発から 30～40 年以上の年数を経過し、高齢化（並木 1 丁目で 40%、富岡東エリアは 20%前後）、核家族化が進み、介護問題や子育て問題など様々な問題が出てきています。また、一部地域の集合住宅では地縁のつながりが弱く、孤立化防止への対応が課題となっています。

一方、身近な地域で行われるサロン活動や体操教室などの地域の福祉活動は長年継続し活発に実施されていますが、担い手不足は深刻化しています。これらの福祉活動を今後も継続できるよう、助け合いの強化、新たな担い手の育成など、地域とともに取り組むことが今後ますます求められています。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 1 地域の方や福祉保健従事者、学校や施設などからの幅広い相談・問い合わせに対し、全職員が“身近な相談窓口”であることを意識して対応しました。
- 2 定期的実施している事業（「介護者の集い」や「子育てサロン」、「障がい者青年学級」など）を通じて、参加者やボランティアから寄せられる相談に対応しながら地域課題を集約しました。
- 3 地域活動交流・地域包括支援センター（生活支援体制整備含）・居宅介護支援・通所介護のそれぞれの部門が連携して、相談に対応しました。

(2) 各事業の連携

- 1 介護保険事業において、利用者・ご家族の意向に寄り添った支援を行いました。日頃から、個々の支援において地域包括・地域交流・生活支援の担当職員とも連携を図り、制度の利用だけでなく、住みなれた場所での生活を支援しました。また、ケアプラザ職員として「地域に向けて何ができるか」についても意識して業務に取り組みました。
- 2 指定管理部門（地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援体制整備）においては、「個別の支援から地域の支援へ」を意識し、地域の事業への協力や出張相談などを 5 職種で分担して行いました。定例ミーティングで地域の情報の共有、それぞれの事業の意見交換、進捗確認など振返りを行いました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

職員全員が法令を遵守し、制度利用を進める中でも、本人の意向を尊重ながら、公平中立に対応しました。

- 1 常勤職員については、資格要件等職員配置基準を満たした配置を行うことはもちろんのこと、コンプライアンス研修を受け、推進ハンドブックを職員全員が携帯し、法律に基づいた公平中立な運営をしました。
- 2 法人の人材育成計画に則り、法人で作成した「地域ケアプラザ業務指針」や「求められる職員像」を活用して効果的に人材育成を進めました。また、今年度は職員の異動が多くありましたが、他部署の経験を活用し職員全体で共有しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

よりよい地域支援を実現できるよう、地区社協、自治会町内会、近隣地域ケアプラザや区役所、区社会福祉協議会など関係機関との連携を図りました。

- 1 自治会町内会・地区社会福祉協議会・地区民生委員児童委員協議会・近隣施設等関係機関との連携を図り、横浜市社会福祉協議会の進める「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」に区社協とともに取り組みました。
- 2 地域ケア会議や地域の団体の交流会、会場利用団体の交流会等を通じて地域課題の共有化を図るとともに、福祉保健活動団体同士のつながりが持てるよう、情報交換や活動紹介の機会を作りました。
- 3 地域の活動団体や地域の施設等（幼稚園や小学校等）と協力した取り組みを行うとともに、地域に出向くことで関連機関・団体等との関係づくりを進めました。

(5) 区行政との協働

金沢区地域福祉保健計画の推進をはじめ、地域の課題を把握・共有しながら、地域の方、関係各署とともに取り組みました。

- 1 地域福祉保健計画地区別計画の推進について、地域支援チームの一員として積極的に携わり、区役所、区社会福祉協議会、近隣ケアプラザと連携しながら地域の取り組みを支援しました。
- 2 地域包括支援センターで関わるケースの中で特に課題を多く抱えたケースの支援については、随時区と連携しながら対応しつつ、毎月の定例会で全体的な方針について再度検討を行いました。また、元気づくりステーション等介護予防事業や権利擁護事業に関しても、区と連携して進めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1 地域ケアプラザの事業等を通じて、子ども・高齢・障がいなど様々な対象の方が「集える場」の提供を行い、多世代交流の場作りを行いました。
- 2 子育て世代の養育者の健康づくりの事業を開催しました。
- 3 高齢者の介護予防や健康づくり、仲間づくりにつながる事業を開催しました。
- 4 日頃、ケアプラザにあまり縁のない現役世代や男性も事業に参加できるよう、夜間枠を活用した運動講座を継続開催しました。
- 5 夜間枠を活用した運動講座では、ケアプラザ事業の周知を行い、人材発掘に努めました。
- 6 ボランティア団体、地域団体と協働し、その力を活かした事業を開催し、ボランティアの育成につなげました。
- 7 併設施設の地域活動ホームと協働して「ふれあいハウスフェスタ」を開催しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 地域のボランティア団体や当事者団体の活動の拠点として会場を提供するとともに、環境整備を継続して行いました。
- 2 福祉保健関係団体にケアプラザを活用していただけるよう、広く情報発信し、連携の輪を拡げました。
- 3 ケアプラザで活動する団体が、得意を発揮できる事業を企画し開催しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 新たなボランティア人材を発掘するために、現役世代や男性が参加している講座でケアプラザの事業について周知を行い、人材発掘に努めました。
- 2 ケアプラザや地域で活動をされているボランティアの方々に、ケアプラザ事業の講師等を依頼することで、ボランティア人材の育成・活動支援を行いました。
- 3 「ボランティア活動をしたい」、「ボランティアによる支援をお願いしたい」という地域のニーズに対し、ボランティア活動者の調整を行いました。
- 4 ボランティア相談に対応できるよう、地域の関係団体や区社協等と連携を図りながら支援しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1 各事業実施時及び会場利用受付時も地域の声を聞く機会として捉え、来館される方々からの情報収集に取り組みました。
- 2 関係機関・団体の会議、行事等に参加し、情報収集に取り組みました。また事業のチラシ等の配布や掲示を依頼し、情報提供を行うことで、関係機関・団体との連携を図りました。
- 3 地域ケアプラザに登録する福祉保健活動団体の情報を、地域に向けて発信しました。
- 4 様々な方法でタイムリーに情報提供できるように努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 1 横浜市社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザとして、「身近な地域のつながりづくり」、「共助の層を厚くする」を使命に、高齢になっても「住み慣れた場所で暮らせるように」、「地域で元気に活躍してもらえるように」、地域活動交流・地域包括支援センターの内部連携はもとより、区社協の生活支援コーディネーターほか関係機関と協働しながら、地域の中に「ご近所どうしの見守り・ささえあいの仕組み」や「仲間づくり・集いの場」を整備しました。
- 2 すでに具体的に仕組みや場が検討されている活動に関しては、実施に結びつくよう関わりを強化しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1 高齢者の日常生活に関するニーズについて、シニアクラブや自治会のサロン等に出向いての情報収集はもとより、包括支援センターに寄せられる相談やケアマネジャーから得られる情報等、ケアプラザの各機能を有効活用しての把握に努めました。
- 2 地域情報・社会資源把握については、「地域支援記録」や「地域アセスメントシート」等を活用し、地域活動交流や地域包括センターの職員と一緒に、情報の整理・確認を行いながら地域づくり・関係づくりに取り組みました。

(3) 連携・協議の場

1 所内及び関係機関へのアプローチ

地域アセスメント等で把握した課題については、定期的に地域活動交流・地域包括センター職員との共有を図り（5職種ミーティングを毎月実施）、また、必要時は区役所・区社会福祉協議会・近隣ケアプラザと協働して解決に向けて取り組みました。

2 地域へのアプローチ

日頃より、地区内のシニアクラブやサロン・介護予防活動団体・ボランティア団体・地区民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会等諸団体とのコミュニケーションを図り、ネットワークの構築・強化に取り組みました。

3 協議・検討の場

地域ケア会議や上記ネットワークの会議等の場で「地域で気になること、困っていること」等を協議する機会（年4回）を設け、課題の解決につなげました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. シーサイドタウン地区については、昨年度より取り組んでいる「地区におけるボランティアグループの組織化」を地区社協、区社協、富岡東地域ケアプラザと一緒に進め、「お助け隊なみき」という名称で12月に立ち上げを行いました。

地域がこの活動をどのようにしていきたいかという意向を尊重しながら、よりスムーズなコーディネートを目指しスキルアップに取り組むとともに、まずは安定した活動に向けて継続的な活動支援を行います。

その他、UR団地にお住まいの方を対象にした多世代交流のサロンを、今年度は8月より毎月実施しました。毎回1～2名程度は新規の参加者が来所し、ゆるやかな見守りと、交流の場となりました。

シーサイド商店街の空きスペースの活用に関しては、並木ラボの移転に伴い、まずはラボの活用を目指しエリア会議に出席する中で動向を探りました。

2. 富岡第一地区については、青砥地区で2回多世代交流のサロンを実施し、日頃そういった場に参加したことがない高齢者や親子の外出の機会や交流につなげることができました。次年度以降も継続実施をし、拡大して実施していくことも視野に入れて関わります。

また、富岡商店街の空き店舗については、まずはエリアである富岡地域ケアプラザで認知症カフェを試行的に実施して場を周知するとともに、今後の効果的な活用について検討を進めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1 社会福祉協議会の運営する地域包括支援センターであることを意識しながら、区社会福祉協議会や地区社会福祉協議会、地域の福祉保健関係者との連携・協力を大切にし、「頼りにされる相談窓口」として業務にあたりました。

2 より身近な場所で相談を受けられるよう、シニアクラブや自治会・町内会のサロンなど地域の方々が集まる場に積極的に赴きました。

3 地域ケア会議や支えあいネットワークの場を有効に活用し、関係機関・団体との情報共有を密に図りました。

②実態把握

- 1 民生委員との情報交換会を開催し、地域課題の共有を図りました。
- 2 地域のサロンや出張相談の場での個別相談に応じ、ニーズの把握に努めました。
- 3 相談集計システムを活用しながら地域ごとの課題を分析し、実態把握に活かしました。

③総合相談支援

- 1 地域の方やケアマネジャー等の関係機関・団体からの幅広い相談に対して、ケアプラザの全職員が相談対応できるよう体制を整え、問合せに対して迅速、的確に情報提供できるよう職員教育を実施しました。また高齢者施設や医療機関、福祉関連情報についての資料を窓口を設置し、必要時にアナウンスを行いました。
- 2 誰もが気軽に安心して相談できる窓口となるように、小さな相談も拾い上げ、各部門で連携しながら適切な対応を行いました。また、必要に応じて継続した対応を図りました。
- 3 遠距離ゆえにケアプラザまで相談に来る事が難しい地区に対して出張相談の場を設け、適切な情報提供を行うとともに、関係機関や制度に繋げました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 成年後見制度や日常生活自立支援事業について普及・啓発を行い、専門機関とも連携しながら適切な支援を行いました。
- 2 遺言や相続などの「高齢期における心配ごと」に関する情報提供を地域に向けて積極的に行い、「自分らしい老後」を考えていただくための啓発を行いました。
- 3 悪質商法などの消費者被害を少しでも減らせるように、地域に向けた啓発を行い、被害相談に対する適切な支援を行いました。
- 4 「介護者のつどい」では、介護をしている方々の交流の場を設けるとともに、認知症や実際の介護に役立つ学習会を開催しました。
- 5 区社会福祉士部会では、定期的な情報交換や勉強会を開催するとともに、新任ケアマネジャーに対して成年後見制度の研修を実施しました。
- 6 区内で成年後見に携わっている区役所や弁護士等と定期的に事例検討会や情報交換を行い、専門家と繋がりやすい土壌を形成しました。

②高齢者虐待への対応

- 1 地域に向けて高齢者虐待の基礎知識についての普及啓発に努めました。
- 2 高齢者虐待に関わる機関・団体等とのネットワークを活用し、高齢者虐待の早期発見や予防・防止に向けた取り組みを行いました。
- 3 高齢者虐待対応における市町村権限行使に当たっての協力と養護者支援に積極的に取り組みました。
- 4 区社会福祉士部会として、高齢者虐待の防止についての取り組みを検討しました。

③認知症

- 1 認知症の相談に対して、正しい情報提供と適切な支援ができるよう研修会等に積極的に参加するとともに、職員間で情報共有し能力向上に努めました。
- 2 認知症等のご家族を介護されている介護者のため、気軽に参加でき、実際の介護に役立ててもらう「介護者のつどい」を開催し、介護者の支援を行いました。
- 3 認知症キャラバンメイトグループ「ロバの会」の後方支援を行いました。
- 4 認知症の人やご家族が早期に相談に繋がるための地域向けの講座を実施しました。また、認知症初期集中支援チームとも連携して支援に取り組みました。
- 5 認知症で判断能力が低下しても、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、成年後見制度の利用について普及啓発活動を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 地域への出張講座や地域のサロン・行事などへの参加を通して、地域の方に介護保険制度の啓発やケアプラザ事業の周知を行いました。
- 2 民生委員とケアマネジャー、地域包括支援センター・ケアプラザ職員との情報交換会をシーサイドタウン地区で8月に、民生委員とケアプラザとの情報交換会を富岡第一地区で3月に実施しました。
- 3 昨年の事業でニーズのあった個人向けの認知症サポーター養成講座を7月と3月に開催し、認知症理解の普及啓発を行うとともに、介護離職を防げるような地域支援を行いました。

②医療・介護の連携推進支援

- 1 区主任ケアマネジャー部会主催で「ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会」を11月に実施しました。
- 2 区内の地域包括支援センターで協働し、「医療ソーシャルワーカーとの情報交換会」を2月に開催しました。
- 3 協力医による健康相談事業を実施しました。(月2回)
- 4 北部主任ケアマネジャー共催で、医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・区役所・包括センターが参加する「在宅医療連絡会」を8月、1月に実施しました。

③ケアマネジャー支援

- 1 区内北部ブロック主任ケアマネジャーで共催して、ケアマネジャー同士の連携およびスキルアップを目的とした「ケアマネカフェ&事例検討会」を6月、10月に開催しました。
- 2 地域包括支援センターの3職種で連携しながら、ケアマネジャーからの相談への対応やサービス担当者会議への参加に積極的に取り組みました。また、必要に応じて同行訪問も実施しました。
- 3 区内主任ケアマネジャーが交替で区ケアマネ倶楽部役員会に出席し、ケアマネジャーのニーズを把握し、情報提供や支援を行いました。
- 4 区主任ケアマネジャー部会で協働して、区内の主任ケアマネジャーを対象とした研修、連絡会を7月に実施しました。
- 5 区主任ケアマネジャー部会で協働して、新任・就労予定のケアマネジャーを対象とした初任者研修を9月、11月、2月に開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1 個別レベルの地域ケア会議では、6月に孤独死、1月に緊急時対応をテーマに実施しました。日常生活圏域の地域ケア会議を9月、3月に実施しました。9月の会議では6月の個別ケア会議を受けて、地域向けの『見守りチラシ』を作成しました。
- 2 UR独居男性見守り訪問事業を5月、11月に実施し、ゆるやかな見守りと地域とのつながりを支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 1 サービス担当者会議やケアマネジャーを通じて、ご利用者に地域のインフォーマルサービス等の情報提供を行いました。
- 2 プラン作成委託先のケアマネジャーと日頃から情報交換を行い、サービス担当者会議に積極的に参加しました。
- 3 区の包括保健師部会において区内の情報を共有し、介護予防に関する研修会を3月に行いました。
- 4 金沢シーサイドタウン地区を担当する区と包括の看護職のエリアミーティングを活用して情報共有を行い、ケアマネジメントに活用しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1 区役所と連携を図りながら、元気づくりステーションの参加者が主体的に介護予防活動に取り組むことができるよう後方支援を行いました。
- 2 ケアプラザに限らず、シニアクラブや自治会・町内会のサロンなど地域の方々が集まる場で、介護予防に必要な知識と実技を学べるよう、講演会や講座等を積極的に実施しました。
- 3 シニアクラブや自治会、町内会のサロンやお祭り等で健康チェックや健康相談を行うことで高齢者の健康状態を把握し、介護予防の周知・啓発に努めました。
- 4 健康麻雀サロンにおいて、ボランティアコーチによる麻雀講座の充実やメンバーの自主的な取り組みを促すことで、やりがいや仲間づくりにつながるよう支援しました。
- 5 シニアクラブや自主活動を行なっているグループに向けて介護予防に関する出張講座や活動継続のための運営支援を行いました。
- 6 地域で介護予防活動に取り組まれる方々に情報や学ぶ機会を提供し、活動が広がるよう支援しました。

5 その他

併設施設との連携

併設している地域活動ホームシーサイドとは、それぞれの事業や特徴を相互に理解し協力関係を構築しました。また、地域住民に対しそれぞれの施設や業務内容をPRしていくための事業を協同して実施しました。

1 地域ニーズに合わせた事業実施

「ふれあいハウスフェスタ」の協同開催や運営会議等への参加、自主事業への協力など相互に協力しながら事業を展開しました。

2 相互協力にもとづいた運営

定期的に防災会議を開催し、年2回の防災訓練の他に緊急時の対応についても検討し、有事の際に協力して迅速に対応できる体制を整えました。併設施設との覚書にもとづき、水道光熱費、施設の保守・改修等を共同で行い、毎月の調整会議にて効率的な管理運営を検討しました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

当施設は、乳幼児やご高齢の方、障がいのある方など様々な方々にご利用いただいています。安心、安全に利用できる施設となるよう、適正な管理・運営に努めました。

1 衛生管理

快適・安全に利用していただけるよう、日常清掃や定期清掃により施設を清潔に保ちます。利用者・来館者の衛生環境向上のため、玄関およびデイルーム・トイレ出入口に吸水吸油マットを設置しています。

2 法令にもとづいた施設・設備の保守管理

建築基準法・消防法等の法令にもとづき適正に保守管理を行うとともに、専門業者による定期点検と、職員による日常点検を通じて安全確保に努めました。

3 計画的な施設・設備の改修

快適かつ安全に利用できるよう計画的に施設および設備の補修を実施しています。

4 緊急時の対応

施設や設備の破損や故障については、利用時にご迷惑がかからぬよう関係機関と協議して迅速に対応しています。

(2) 効率的な運営への取組について

公的施設の指定管理者であることを認識し、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の節減や資源の有効活用を心がけました。

1 予算管理にもとづく効率的な経営

コスト意識を持ち、予算内で効率的な運営を行うため、月ごとの収支状況を確認しながら経費節減や資源の有効活用に努めました。

2 省エネルギー対策やリサイクル等への取り組み

不要な電力消費を避け、エアコン等の温度調節を徹底します。また、再生紙や使用裏紙の活用など、日常的にリサイクルを心がけました。照明のLED化も順次進めていきます。

(3) 苦情受付体制について

館内及びサービス利用者の方、及び周辺にお住まいの方からのご意見を頂くための仕組みを設け、適宜対応しました。

1 苦情の受付・解決

法人の苦情解決規則に基づき、苦情受付責任者及び担当者を任命、館内に掲示し、苦情の対応を進めました。また、法人内に第三者委員（苦情解決調整委員）を設置し、受付機会を増やす取り組みを進めました。

2 「ご意見箱」を常設

館内に「ご意見箱」を設置、利用者アンケートの内容も反映し、苦情だけでなく、より使いやすい施設に向けた改善策の提案を積極的に収集しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1 「事故・災害・事件対応マニュアル」を整備し、事故、感染症や災害などにも備えるとともに、事故発生時には施設内、法人内及び関係行政機関と速やかに連絡が取れるよう、連絡体制を整えました。

2 福祉避難場所としての役割を認識し、備蓄物資を適切に管理するとともに、災害時における人員の確保、役割の執行が行えるよう、関係行政機関と連携して体制を整備しました。

3 館内利用団体に対しては、避難経路を毎回利用時に伝え、必要な災害を想定した避難訓練を年2回実施するとともに、津波対策避難訓練も実施し、緊急時に対応できる組織づくりに努めました。

(5) 事故防止への取組について

施設内に留まらず、法人内他施設と情報を共有し、分析・予防を検討することにより効率的な事故予防に努めました。

1 事故や感染症、火災等の発生ゼロを目指し、ケアプラザ全体で安全管理に取り組みました。

2 職員会議で事故・リスクの共有を行い防止策を検討しました。

3 地震や津波を想定した災害対策について、マニュアルを活用しながら対処訓練等を行いました。

4 横浜市内の福祉施設の防災について、被災状況報告訓練に参加し緊急時の対応について検討しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人にて制定した「個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に基づき、個人情報に係る事故防止の取組を徹底しました。

1 個人情報の管理

個人情報が含まれる記録やデータ媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外 の持ち出しを原則禁止するとともに、放置しないよう注視しています。やむを得ず外部に持ち出す場合も、訪問先からの直帰を禁止するなど細心の注意を払いました。

2 パソコンのパスワード設定

パソコンはパスワードを設定し、外部の者が使用できないようにしています。また、パスワードを定期的に変更し、より厳重な管理を徹底しました。

3 個人情報の回覧

個人情報の回覧にあたっては、内部が見えないケースに入れて行い、退出時にはキャビネットに収納し、机の上に放置することがないよう徹底しました。

4 守秘義務の徹底

職員だけでなくボランティア等事業に携わる者すべてに守秘義務について明文化したものを配布・説明し、守秘義務の徹底を図りました。

(7) 情報公開への取組について

1 情報公開の取り組み

法人が制定した「保有する情報の公開に関する規程」に基づき適切に対応しました。

- (1) 規程に基づき、保有している情報を開示します。ただし、個人のプライバシーや法令等の規制で公にすることが出来ない情報など、開示できないものを除きます。今年度はありませんでした。
- (2) 公表に際しては、個人の不利益にならないことや責任者の判断を得ること等を徹底しました。
- (3) 施設概要やサービス内容を地域の方にわかりやすく提供できるよう、閲覧用の事業報告書・決算書、その他情報公表用資料を窓口を設置しました。

2 運営状況等の公開について

法人の運営状況について、事業報告書・決算書の本会ホームページへの掲載等、積極的に情報の公開に取り組みました。施設の事業についても、定期的に広報紙を発行し、地域の方々に周知しました

(8) 人権啓発への取組について

本会の活動理念である「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」に基づき、本人家族の意向を尊重して対応を進めました。

- 1 日常的に、「高齢者虐待防止」、「認知症の理解」、「障がいのある方への配慮・理解」等をベースとした地域住民に向けた啓発を行いました。また、介護保険事業においては、業務マニュアルの中に倫理規程を設け、「利用者本位」、「自立支援」の方針に基づいた利用者支援（処遇）に努めました。
- 2 施設を利用する住民の方々のみならず、業務に従事する職員間であっても「互いを尊重し、相手に対する配慮ができているか」を振り返る機会を設けました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランに基づき、ゴミの少量化、資源の有効活用、地球温暖化防止対応など環境に配慮しました。

1 ゴミの少量化

貸館利用団体には、ゴミの持ち帰りを引き続きお願いしていきます。また、施設独自に推進員を定め、参加人数を踏まえた資料作成や両面コピーの推奨など、ゴミの少量化に努めました。

2 資源の有効活用

ゴミを排出する場合はヨコハマ3R夢プランに基づき適切に分別を行い、大切な資源としてリサイクルに活かす取り組みを実施しました。またリサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に購入しました。発展途上国のワクチン推進の為のエコキャップ回収を実施していましたが、回収業者が閉業したため中止となりました。

3 地球温暖化防止への対応

利用されている方の状況を踏まえながら、環境に配慮した温度設定に取り組みました。また、積極的に節電に努めながら、施設照明のLED化も進めています。

4 その他の環境への配慮

職員の外出時は自動車の利用は極力避け、徒歩や自転車、公共交通機関を利用して化石燃料の節約に努めました。また、会車利用時はアイドリングストップなどエコドライブを実施し、公共施設として模範となるような行動に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 保健師 1名（常勤）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤）
- ・ 介護予防プランナー 1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- 1 サービス担当者会議やケアマネジャーを通じて、ご利用者に地域のインフォーマルサービス等の情報提供を行いました。
- 2 委託先のケアマネジャーと日頃から情報交換を行い、サービス担当者会議に積極的に参加しました。
- 3 区の包括保健師部会において区内の情報を共有し、介護予防に関する研修会を3月に行いました。
- 4 金沢シーサイドタウン地区を担当する区と包括の看護職のエリアミーティングを活用して情報共有を行い、ケアマネジメントに活用しました。

《実費負担》

- ご利用者のご負担はありません。

《その他》

- 介護予防支援事業所内で毎月定期カンファレンスを行い、情報共有、事例検討を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	157	157	164	161	170
10月	11月	12月	1月	2月	3月
163	164	164	167	177	180

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 8名
 - 常勤兼務 1名
 - 常勤専従 1名
 - 非常勤専従 4名
 - 非常勤兼務 2名

《目標に対する成果等》

- 要介護認定を受けている在宅の利用者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ご利用者を取り巻く状況を総合的に捉えたご利用者主体のケアプラン作成に努めました。
- 法令遵守を基本とした公正中立な立場で関係機関と連携し、多様で総合的なサービス調整を実施しました。
- 安心と満足につながる丁寧な支援プログラムを踏まえ、ご利用者の自立支援と介護者にも無理のない、安定した介護体制づくりを支援しました。
- 地域の関係機関との連携に努め、より良いケアプラン作成に活かしました。
- 介護支援専門員として守るべき法令や倫理を自覚するとともに、更なる能力向上を図るために、内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めました。

《実費負担》

- ご利用者のご負担はありません。

《その他》

地域の身近な相談窓口としての地域ケアプラザの機能を活かした総合的な支援を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	126	127	129	127	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
137	128	127	119	118	114

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎・入浴・給食

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1 割負担分

（要介護 1）	599 円
（要介護 2）	708 円
（要介護 3）	816 円
（要介護 4）	926 円
（要介護 5）	1034 円

● 加算額	入浴加算	54 円
	体制強化加算Ⅱ	7 円
	中重度ケア体制加算	49 円
	個別機能訓練加算Ⅱ	60 円

● 2 割負担分

（要介護 1）	1197 円
（要介護 2）	1415 円
（要介護 3）	1632 円
（要介護 4）	1851 円
（要介護 5）	2067 円

● 加算額	入浴加算	108 円
	体制強化加算Ⅱ	13 円
	中重度ケア体制加算	97 円
	個別機能訓練加算Ⅱ	120 円

● 3 割負担分

（要介護 1）	1795 円
（要介護 2）	2123 円
（要介護 3）	2448 円
（要介護 4）	2776 円
（要介護 5）	3101 円

● 加算額	入浴加算	161 円
	体制強化加算Ⅱ	20 円
	中重度ケア体制加算	145 円
	個別機能訓練加算Ⅱ	180 円

● 介護職員処遇改善Ⅰ 所定単位数に 1000 分の 59 を乗じた単位数を加算

● 食費負担 750 円

● 行事費用（通常のプログラム以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10：15～15：20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤）
- ・生活相談員 4名（常勤・非常勤）
- ・看護職員 8名（非常勤・兼務）
- ・介助員 10名（非常勤）
- ・機能訓練指導員 8名（非常勤・兼務）
- ・運転員 6名（非常勤）

《目標に対する成果等》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした通所介護計画を作成しました。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めました。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力の向上を図ります。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱いました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、積極的に職員研修を実施し業務の質の向上及び標準化を図りました。

《その他》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供を行いました。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけました。
- 多くのご利用者に来ていただくため、各居宅支援事業所と連携をはかるとともに、機能訓練や認知症予防を重視したレクリエーションに力をいれていきました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
501	533	556	545	556	543
10月	11月	12月	1月	2月	3月
576	559	488	443	439	481

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 健康状態の確認
- 送迎・給食・入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要支援1）		1766円
（要支援2（1））		1766円
（要支援2（2））		3621円
体制強化加算Ⅱ（要支援1）	1ヶ月	26円
（要支援2（1））	1ヶ月	26円
（要支援2（2））	1ヶ月	52円

- 2割負担分

（要支援1）		3531円
（要支援2（1））		3531円
（要支援2（2））		7241円
体制強化加算Ⅱ（要支援1）	1ヶ月	52円
（要支援2（1））	1ヶ月	52円
（要支援2（2））	1ヶ月	103円

- 3割負担分

（要支援1）		5297円
（要支援2（1））		5297円
（要支援2（2））		10861円
体制強化加算Ⅱ（要支援1）	1ヶ月	78円
（要支援2（1））	1ヶ月	78円
（要支援2（2））	1ヶ月	155円

※要支援2（1）は要支援2で週1回程度ご利用の方
 要支援2（2）は要支援2で週2回程度ご利用の方

- 介護職員処遇改善加算Ⅰ
 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。
- 食費負担 750円
- 行事費用（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10：15～15：20

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤）
- ・ 生活相談員 4名（常勤・非常勤）
- ・ 看護職員 8名（非常勤・兼務）
- ・ 介助員 10名（非常勤）
- ・ 機能訓練指導員 8名（非常勤・兼務）
- ・ 運転員 6名（非常勤）

《目標に対する成果等》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切に第1号通所介護計画を作成しました。また、社会福祉協議会が運営する第1号通所介護事業所として、地域の要支援者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めました。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたれるよう、また介護予防通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力の向上を図ります。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱いました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、業務の標準化を図りました。

《その他》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供を行いました。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」と「介護予防支援」の理念に基づいた、利用者本位のサービス提供を心がけました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	14	14	14	14	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	16	14	16	16

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
布おもちゃの貸出	地域の方々	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1,843人		包括						
	0円		介護						
			生活						
青年学級Hello!	障害者	81,264	地活	0	20,700	0	60,000	0	21,264
	329人		包括						
			介護						
			生活						
子育てサロンなみき	乳幼児と保護者	6,994	地活	0	0	0	0	0	6,994
	494人		包括						
			介護						
			生活						
なごみサロンなみき	地域の方	158,288	地活	0	134,400	0	0	0	158,288
	483人		包括						
			介護						
			生活						
並木ティールーム	60歳以上の地域住民	56,560	地活	0	12,900	0	17,000	39,560	0
	118人		包括						
			介護						
			生活						
あけぼの幼稚園交流会	近隣幼稚園	0	地活	0	0	0	0	0	0
	33人		包括						
			介護						
			生活						
コーヒーサロン	地域の方々	28,577	地活	0	9,700	0	0	0	28,577
	102人		包括						
			介護						
			生活						
夏休みの勉強・宿題を一緒にやりましょう	小学生	14,836	地活	0	6,000	0	0	0	14,836
	80人		包括						
			介護						
			生活						
すくすく親子講座 ～ぶちぼけっと～	未就園児と保護者	10,000	地活	0	2,300	0	10,000	0	0
	48人		包括						
			介護						
			生活						
出張医療講演会	地域の方々	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
			介護						
			生活						
子育てサポートシステム説明会	子育て養育者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39人		包括						
			介護						
			生活						
活動ホーム合同企画 ふれあいハウスフェスタ	地域の方々	0	地活	0	0	0	0	0	0
	280人		包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

ママのためのエクササイズ	未就園児とその保護者	40,000	地活	0	17,400	0	40,000	0	0
	214人		包括						
			介護生活						
すくすく親子講座 人形劇	小さな子どもから小学生	3,000	地活	0	0	0	3,000	0	0
	70人		包括						
			介護生活						
多世代交流事業 夕涼み会	地域の方	11,880	地活	0	4,900	0	0	0	11,880
	55人		包括						
			介護生活						
多世代交流事業 アイシングクッキー作り	地域の方	19,000	地活	0	6,800	0	3,000	0	16,000
	21人		包括						
			介護生活						
活動者交流会	ケアプラザの利用登録	8,102	地活	0	0	0	0	0	8,102
	16人		包括						
			介護生活						
多世代交流事業 手作りこものワークショップ ちくちくお供えもち ちよきベタクリスマスツリー	地域の方	11,187	地活	0	2,900	0	0	0	11,187
	20人		包括						
			介護生活						
きれいな姿勢・ぶれない 体幹をGETしよう		44,480	地活	0	34,000	0	40,000	0	4,480
			包括						
			介護生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
体操教室 「ステップアップ2」 後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	400円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」 後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	2500円/年		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
「音楽療法 なみき音楽倶楽部」 後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	5000円/年		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」 後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	100円/回		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
出張相談	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
出張講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
介護者のつどい	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	12000	0	4724
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ほのぼの出張相談	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
「並木1丁目第三住宅」 出張相談	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
地域ケア会議	関係機関・地域住民	3,851	地活	0	0	0	0	0	0
			包括	0	0	0	0	0	3,851
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ロバの会 後方支援	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	制限なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
センターいきいき 「元気づくりステーション」 後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	200円/回		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0

平成30年度 自主事業収支報告書

健康麻雀サロン	高齢者	91298	地活	0	0	0	0	0	0
	15人/回		包括	0	0	0	0	0	12124
	50円/回		介護	0	14400	0	0	0	0
			生活	0	14400	0	0	0	79174
なごみサロン@あおと	高齢者・子ども	6409	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	3000	0	3409
認知症講座	地域住民	910	地活	0	0	0	0	0	0
	30人/回		包括	0	0	0	0	0	910
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
富岡第一地区民生委員 と ケアマネジャーとの交流 会	民生委員・ケアマネジャ	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
シーサイドタウン地区民 生委員とケアマネジャー との交流会	民生委員・ケアマネジャ	2,565	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括	0	0	0	0	0	2,565
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ケアマネカフェ & 事例検討会	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
ケアマネジャーと薬剤師 との情報交換会	薬剤師・ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
北部在宅医療連絡会	在宅医療関係者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人/回		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
主任ケアマネジャーネッ トワーク	主任ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0
カラオケDE歌おう	地域住民	2,268	地活	0	0	0	0	0	0
	20人/回		包括	0	0	0	0	0	2,268
	0円		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	【目的】布おもちゃの貸出を通じた地域情報の把握とケアプラザのPR 【内容】布おもちゃの貸出 【対象者】子ども、高齢者、障がいのある方等の地域の方	通年 延べ利用1,843人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青年学級 Hello!	【目的】義務教育を終了した障がい者の余暇支援 【内容】写真クラブ・カラオケ・調理・交流会 【対象者】金沢区在住在勤の障がいのある方	通年 26回/329人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロンなみき	【目的】子育てのための仲間づくりと地域情報の提供 【内容】ボランティアの協力による子育てサロン 【対象者】未就園児と保護者	毎月第3火曜日 12回/494人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロンなみき	【目的】仲間づくりとシニアボランティアの育成 【内容】喫茶コーナーとフリースペースサロン事業 【対象者】地域の方	毎月第3火曜日 12回/483人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木団いールーム	【目的】高齢者の閉じこもり防止と状況把握 【内容】高齢者の仲間づくりを目的としたサロン事業 【対象者】概ね60歳以上の地域の方	第2水曜日(奇数月) 6回/118人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あけぼの幼稚園交流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	5月 3回/33人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーサロン	【目的】新しい事業参加者の開拓と人材育成 【内容】コーヒーをツールとしたサロン(仲間づくり) 【対象者】地域の方	月1回 11回/102人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みの勉強・宿題を一緒にやりましょう	【目的】夏休みの子どもの居場所の提供 【内容】夏休みの勉強や宿題 【対象者】近隣の小学生	7~8月 4回/80人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座 ~ぷちぼけっと~	【目的】親子の仲間づくりと子育て支援 【内容】小物づくり・リズム遊び・歌遊び等のプログラム 【対象者】未就園児と保護者	6月・11月 2回/48人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張医療講演会	【目的】地域に向けた健康への意識づけ促進とケアプラザの周知 【内容】医療講演会「整形外科での腰痛治療」 【対象者】地域の方	12月3日 1回/39人

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポートシステム説明会	【目的】子育てサポートシステムの周知協力 【内容】子育てサポートシステムの説明会 【対象者】利用希望者及び興味のある方	4月7日 1回／11人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動ホーム合同企画ふれあいハウスフェスタ	【目的】並木地域ケアプラザ及びシーサイドの地域への周知 【内容】食べ物屋台やフリーマーケット等で住民との交流 【対象者】地域の方	11月23日 1回／280人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのためのエクササイズ	【目的】子連れでも気軽に参加できる、定期的に運動する機会を提供する 【内容】養育者の健康づくり講座 【対象者】未就園児とその保護者	6～11月 8回／214人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座人形劇	【目的】人形劇活動団体の紹介とケアプラザのPR 【内容】人形劇のボランティアによる上演会 【対象者】小さな子どもから小学生高学年	3月12日 1回／70人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多世代交流事業夕涼み会	【目的】地域の方が集まり、一緒に夕食を食べる機会を提供し、多世代交流を図る 【内容】ボランティアグループによる紙芝居と夕食提供(カレーライス・デザート) 【対象者】地域の方	8月24日 1回／55人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多世代交流事業アイシングクッキー作り	【目的】子どもも大人も一緒に物づくりを楽しめる場を提供する。地域住民が一堂に会する場で顔見知りとなるきっかけとする他、地域の活動者に活躍の場を提供する。 【内容】アイシングクッキー作り 【対象者】地域の方	3月21日 1回／21人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動者交流会	【目的】並木地域ケアプラザを拠点に活動をしている方々の交流を図り、横のつながりを作るとともに、ケアプラザに対する意見や要望を聞く。りとなるきっかけとする他、地域の活動者に活躍の場を提供する。 【内容】ケアプラザの利用登録団体とデイサービスのボランティア(個人ボラ)の交流会。 【対象者】ケアプラザの利用登録団体とデイサービスのボランティア	1回／16人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多世代交流事業手作りこものワークショップ ちくちくお供えもち ちよきペタクリスマスツリー	【目的】子どもも大人も一緒に物づくりを楽しめる場を提供する。地域住民が一堂に会する場で顔見知りとなるきっかけとする他、地域で活動している団体とその活動を周知する。 【内容】地域団体を講師として、多世代で集まり、物づくりを行う。 【対象者】地域の方	12月8日 1回／20人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きれいな姿勢・ぶれない体幹をGETしよう	【目的】子どもも大人も一緒に物づくりを楽しめる場を提供する。地域住民が一堂に会する場で顔見知りとなるきっかけとする他、地域で活動している団体とその活動を周知する。 【内容】地域団体を講師として、多世代で集まり、物づくりを行う。 【対象者】地域の方	12月8日 1回／20人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
体操教室 「ステップアップ2」 後方支援	【目的】高齢期の健康づくり・転倒骨折予防に取り組む自主化したグループの後方支援 【内容】健康運動指導士による体操、ケアプラザ職員によるミニ健康講話、介護予防啓発など	4月～3月 月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘 「元気つくりステーション」後 方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】月2回の健康づくり体操。リラクゼーションヨガ、健康体操、ケアプラザ事業の情報提供	4月～3月 月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
「音楽療法なみ き音楽倶楽部 ♪」 後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】音楽療法士による音楽療法、運動、栄養、認知症予防、薬などの講座の実施	4月～3月 月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさざな み「元気つくり ステーション」 後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】スリーA、スクエアステップ、体操、音楽療法、盆踊り、ケアプラザ職員による講座を実施	4月～3月 月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
センターいきい き「元気つくり ステーション」 後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】スクエアステップ、音楽療法、ストレッチ、DVD鑑賞、健康講話、区職員とケアプラザ職員による健康チェック等の実施	4月～3月 月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	【目的】地域包括支援センターが地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また地域包括支援センターの普及にも繋がる。 【内容】サロン・夏祭り等での出張相談	通年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	【目的】地域包括支援センターの周知、情報提供、地域の方との顔が見える関係づくり 【内容】地域包括支援センターとは・介護保険制度・介護予防・口腔ケア・認知症・ロコモ・スリーA・消費者被害・振り込め詐欺防止等	通年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの出張相 談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。地区社会福祉協議会及び他の地域ケアプラザと連携した地域の実態把握 【内容】金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会が主催するサロン「ほのぼの」に出張相談窓口を設置し、富岡東地域ケアプラザと並木地域ケアプラザの職員が交代で出向き、相談対応や血圧測定を行った。	月1回・第3木 曜

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「並木1丁目第三住宅」出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。自治会や地区社会福祉協議会と連携した地域の実態把握 【内容】並木第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を開設	月1回 ・第2木曜
生鳥見ヶ丘「ゆりの会サロン この指とまれ」出張相談	【目的】ケアプラザから距離のある地域の町内会館で行われているサロンにケアプラザの職員が定期的に出向いて個別相談対応や情報提供を行う 【内容】個別相談対応、サロン参加者への情報提供	4月～3月 月1回
介護者のつどい	【目的】介護者の把握、介護者同士の交流や情報交換 【内容】おしゃべりサロン、講座	年11回
地域ケア会議	【目的】介護保険事業・行政・地域関係者とのネットワーク形成、個別、地域の課題解決 【内容】個別ケア会議2回、包括圏域ケア会議2回実施。	年4回
カラオケDE歌おう	【目的】地域の独居高齢者の交流と憩いの場 【内容】カラオケとお話し	年2回
認知症講座	【目的】若い世代をターゲットにした認知症理解、介護離職を防ぐ為の講座 【内容】認知症理解と認知症サポーター養成	年2回
ロバの会 後方支援	【目的】地域住民主体の認知症サポーター活動グループの後方支援 【内容】学校や行政機関等に出向いての認知症理解の啓発講座	通年
金沢シーサイドタウン地区民生委員とケアマネジャーの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】「引きこもり」についての勉強会と意見交換会	年1回
ケアマネカフェ & 事例検討会	【目的】ケアマネジャーの交流・業務相談支援。主任ケアマネジャーとケアマネジャーの連携強化、ケアマネジャーのスキルアップ 【内容】情報提供、ケアマネジャー業務についての相談支援、ホワイトボードミーティング方式の事例検討	年2回
マネジャーと薬剤師との情報交換会	【目的】ケアマネジャーと薬剤師との連携促進。 【内容】意見・情報交換など	年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主任ケアマネ ジャーネット ワーク	【目的】区域の包括主任ケアマネジャーのスキルアップと 連携構築 【内容】情報交換、スーパービジョン、事例検討	年1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
在宅医療連絡会	【目的】区北部地域の在宅医療関係者の連携構築、スキル アップ 【内容】薬について、認知症の意思決定支援について、情 報交換	年2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀サロン	【目的】近隣の元気高齢者を対象として、麻雀をツールと したサロン事業。引きこもり予防・仲間づくり・地域参加 【内容】麻雀、体操	月2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロン@ あおと	【目的】住民の交流機会・居場所づくり 【内容】「笑いヨガ」講座・「クラフトペーパーでクリス マスツリー作り」	年2回

平成30年度「並木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,403,780		16,403,780	16,403,780	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	△ 68,256	68,256	戻入額
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	16,403,780	0	16,403,780	16,335,524	68,256	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,656,000		9,656,000	9,224,969	431,031	
本俸	6,920,000		6,920,000	6,385,686	534,314	
社会保険料	1,960,000		1,960,000	738,638	1,221,362	
手当計	682,000		682,000	2,004,026	△ 1,322,026	
健康診断費	11,000		11,000	14,175	△ 3,175	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	ハマボノんぼ
退職給付引当金繰入額	76,000		76,000	75,694	306	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,172,000		1,172,000	1,935,066	△ 763,066	
旅費	30,000		30,000	25,012	4,988	
消耗品費	300,000		300,000	176,140	123,860	
会議随行費	0		0	0	0	
印刷製本費	32,000		32,000	39,292	△ 7,292	
通信費	260,000		260,000	283,440	△ 23,440	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000	149,102	50,898	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	16,969	△ 16,969	
職員等研修費	10,000		10,000	4,040	5,960	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	60,000		60,000	60,558	△ 558	
手数料	15,000		15,000	4,138	10,862	
地域協力費	15,000		15,000	5,000	10,000	
その他	250,000		250,000	1,171,375	△ 921,375	
事業費	417,000		417,000	608,706	△ 229,751	
運営協議会経費	42,000		42,000	3,955	38,045	予算-指定額
指定管理料充当 事業	375,000		375,000	604,751	△ 229,751	
管理費	2,562,600		2,562,600	2,739,043	△ 1,056,443	
建築物・建築設備点検	60,000		60,000	153,576	△ 93,576	予算-指定額
光熱水費	800,000		800,000	902,282	△ 1,022,282	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	830,000		830,000	865,199	△ 35,199	
修繕費	474,000		474,000	405,744	68,256	予算-指定額
機械整備費	145,000		145,000	145,120	△ 120	
設備保全費	223,600		223,600	243,701	△ 20,101	
空調衛生設備保守	3,600		3,600	3,597	3	
消防設備保守	13,000		13,000	19,807	△ 6,807	
電気設備保守	25,000		25,000	34,516	△ 9,516	
害虫駆除清掃保守	25,000		25,000	24,514	486	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	157,000		157,000	161,267	△ 4,267	
共益費	0		0	0	0	
その他	30,000		30,000	23,421	6,579	
公租公課	780,000	0	780,000	737,997	42,003	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	780,000		780,000	737,997	42,003	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一対対応費					0	この列は入力しない
支出合計	14,587,600	0	12,025,000	15,245,781	1,585,779	
差引	1,816,180	0	4,378,780	1,089,743	△ 1,517,523	

自主事業費収入	375,000		375,000	252,000	123,000	
自主事業費支出	375,000		375,000	604,751	△ 229,751	
自主事業収支	0	0	0	△ 352,751	352,751	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「並木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,327,000		23,327,000	23,327,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	△ 1,059,940	1,059,940	戻入分
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	5,450,000		5,450,000	2,000,000	3,450,000	
収入合計	34,717,000	0	34,717,000	30,207,060	4,509,940	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,170,000	0	30,170,000	22,207,182	7,962,818	
本俸	15,409,000		15,409,000	10,910,750	4,498,250	
社会保険料	3,888,000		3,888,000	2,781,903	1,106,097	
手当計	9,257,000		9,257,000	7,239,472	2,017,528	
健康診断費	30,000		30,000	42,525	△ 12,525	
勤労者福祉共済掛金	26,000		26,000	20,250	5,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,560,000		1,560,000	1,212,281	347,719	
その他	0		0	0	0	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	872,206	1,172,794	
旅費	50,000		50,000	70,267	△ 20,267	
消耗品費	110,000		110,000	115,270	△ 5,270	
会議贈い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	250,000		250,000	228,510	21,490	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0	82,992	△ 82,992	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	4,511	△ 4,511	
職員等研修費	20,000		20,000	43,118	△ 23,118	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	15,000		15,000	13,105	1,895	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	1,600,000		1,600,000	314,433	1,285,567	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	6,333,368	△ 5,143,368	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	28,753	71,247	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	32,724	118,276	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	5,767,891	△ 5,458,891	予算:指定額
管理費	1,303,600	0	1,303,600	728,090	575,510	
建築物・建築設備点検	630,000		630,000	40,824	589,176	予算:指定額
光熱水費	220,000	0	220,000	239,847	△ 19,847	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	220,000		220,000	229,989	△ 9,989	
修繕費	126,000		126,000	107,853	18,147	予算:指定額
機械警備費	39,000		39,000	38,575	425	
設備保全費	68,600	0	68,600	64,777	3,823	
空調衛生設備保守	1,000		1,000	955	45	
消防設備保守	3,600		3,600	5,265	△ 1,665	
電気設備保守	7,000		7,000	9,174	△ 2,174	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,516	484	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,000		50,000	42,867	7,133	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	6,225	△ 6,225	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	34,708,600	0	34,708,600	30,140,846	4,567,754	
差引	8,400	0	8,400	66,214	△ 57,814	

自主事業費収入	0			4,284		
自主事業費支出	0			28,753		
自主事業収支	0			△ 24,469		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 並木地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	28,551,000	19,642,730	8,908,270	57,838,000	50,758,276	7,079,724	4,214,000	4,016,910	197,090
	その他	9,700,000	9,724,358	△ 24,358	2,307,000	2,055,506	251,494	13,183,000	11,068,401	2,114,599	468,000	479,605	△ 11,605
	介護予防ケアマネジメント費	4,850,000	3,842,711	1,007,289	0	0	0			0			0
	事業・負担金収入	4,850,000	5,881,647	△ 1,031,647	2,307,000	2,053,452	253,548	6,426,000	5,533,901	892,099	468,000	479,605	△ 11,605
	食費			0			0	6,757,000	5,374,500	1,382,500			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0		2,054	△ 2,054		160,000	△ 160,000			
収入合計(A)		9,700,000	9,724,358	△ 24,358	30,858,000	21,698,236	9,159,764	71,021,000	61,826,677	9,194,323	4,682,000	4,496,515	185,485
支出	人件費	3,000,000	2,775,600	224,400	22,848,000	18,722,601	4,125,399	54,810,000	44,325,025	10,484,975			0
	事務費	8,000	7,560	440	68,000	65,898	2,102	272,000	389,793	△ 117,793			0
	事業費	50,000	31,383	18,617	745,000	678,666	66,334	18,926,000	19,098,849	△ 172,849			0
	管理費	0	0	0	2,000,000	1,876,434	123,566	2,554,000	1,650,359	903,641			0
	その他	5,938,000	5,869,916	68,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0			0			0			0
	消費税	0	0	0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	5,938,000	5,869,916	68,084			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
支出合計(B)		8,996,000	8,684,459	311,541	25,661,000	21,343,599	4,317,401	76,562,000	65,464,026	11,097,974	0	0	0
収支 (A) - (B)		704,000	1,039,899	△ 335,899	5,197,000	354,637	4,842,363	△ 5,541,000	△ 3,637,349	△ 1,903,651	4,682,000	4,496,515	185,485

予防・第1号の3
通所介護に合算

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。